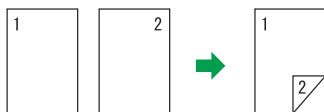
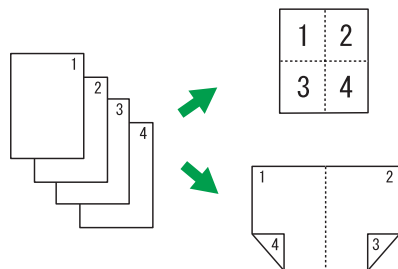
imagio MP 3352/2552 シリーズ

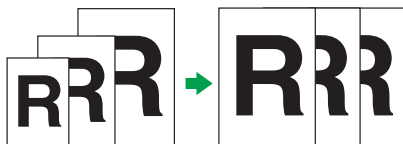
＜コピー＆ドキュメントボックス編＞

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『本機をお使いになる方へ』「安全上のご注意」をお読みください。

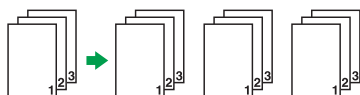
コピーで使えるこんな機能

両面・集約

「両面」や「集約」を使うとコピーする用紙が節約できます。「両面」では 2 枚の原稿を用紙の両面にコピーします。「集約」には「片面集約」と「両面集約」があります。「片面集約」では最大 8 ページ、「両面集約」では最大 16 ページの原稿を 1 枚にまとめてコピーできます。そのため、書類を保管するスペースが減らせます。
設定方法については、P.9、P.10 を参照してください。

用紙指定変倍

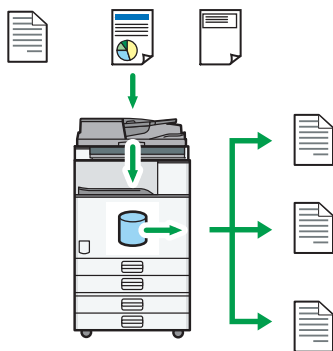
「用紙指定変倍」を使うと、指定した用紙のサイズに合わせて原稿を拡大または縮小してコピーできます。倍率は自動的に設定されます。たとえば、「サイズ混載」と「用紙指定変倍」を組み合わせると、サイズの違う原稿を同じサイズの用紙にコピーできます。
設定方法については、P.7 を参照してください。

ソート

大量の原稿を複数部数コピーするときに「ソート」を使うと、1 セットずつページ順にそろえてコピーできます。「ステープル」と組み合わせると、かんたんに配布資料を作成できます。

設定方法については、P.12 を参照してください。

快適！

ドキュメントボックス

送付状や伝票など、よく使う文書をドキュメントボックスに蓄積しておくと、使いたいときにその場で印刷できます。印刷するときに用紙サイズなどの設定条件を変更することもできます。

詳しくは、P.18 を参照してください。

プログラム登録・初期値登録

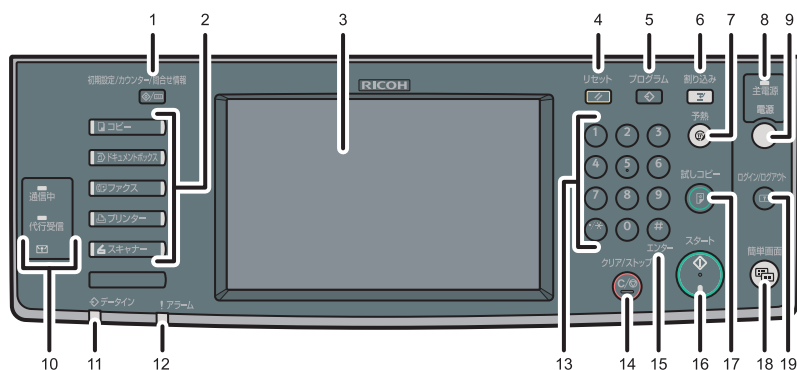
コピー機能をプログラムに登録できます。「両面」や「ソート」、「ステープル」など、よく使う組み合わせを登録すると、[プログラム]キーを押すだけで画面に設定を呼び出せます。片面コピーを初期値にするなど、初期画面の設定を変更することもできます。

詳しくは、P.23、P.25 を参照してください。

目 次

紙の使用説明書に記載されていない情報（機能の説明や操作手順）は、画面で見る使用説明書（付属の CD-ROM に収録）をご覧下さい。

操作部の名称

本体操作部の名称について説明します。

1 ［初期設定／カウンター／問合せ情報］キー

2 機能キー

3 画面

4 ［リセット］キー

5 ［プログラム］キー

6 ［割り込み］キー

7 ［予熱］キー

8 主電源ランプ

9 ［電源］キー

10 通信中ランプ、代行受信ランプ、親展受信ランプ

11 データインランプ

12 アラームランプ

13 テンキー

14 ［クリア／ストップ］キー

15 ［#］キー（エンターキー）

16 ［スタート］キー

17 ［試しコピー］キー

18 ［簡単画面］キー

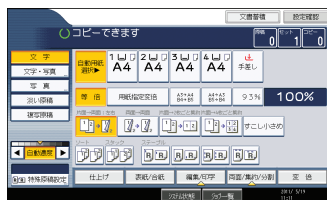
19 ［ログイン／ログアウト］キー

基本的なコピーのとりかた

基本的なコピーのとりかたについて説明します。

1 「コピーできます」が画面に表示されていることを確認します。

補足

- コピー以外の機能が表示されているときは、操作部左側の［コピー］キーを押します。

2 前の設定が残っていないことを確認します。

補足

- 前の設定が残っているときは［リセット］キーを押します。

3 原稿をセットします。

補足

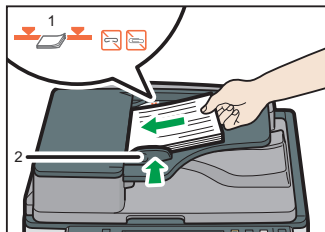
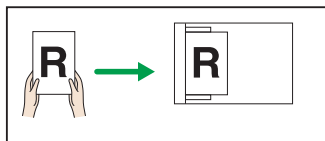
- あらかじめ、ステープルやクリップは取り除いてください。

●自動原稿送り装置（ADF）にセットする

原稿を持ったとき文字が読める状態(方向）のまま、自動原稿送り装置（ADF）にセットします。

BZJ051

1. 原稿ガイドを原稿サイズに合わせます。
2. コピーしたい面を上にし、原稿をそろえて自動原稿送り装置（ADF）にセットします。

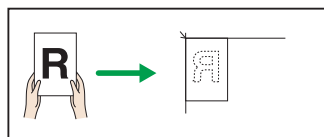
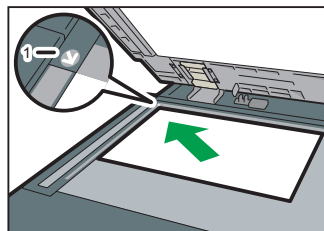
CHF005

1 上限表示　2 原稿ガイド

補足

- 原稿は上限表示を超えないようにセットしてください。
- 原稿は先頭ページが一番上になるようにセットしてください。

●**原稿ガラスにセットする**

原稿を持ったとき文字が読める状態(方向)のまま、裏返して原稿ガラスにセットします。

1. 原稿カバー、または自動原稿送り装置(ADF)を上げます。
2. コピーしたい面を下にし、左奥のセット基準に原稿を合わせてセットします。
3. 原稿カバー、または自動原稿送り装置(ADF)を閉めます。

1 セット基準

補足

- 原稿カバー、または自動原稿送り装置(ADF)の開閉で原稿サイズが読み取られます。30度以上の角度で確実に開いてください。原稿ガラスで自動検知できる原稿のサイズは、A3、B4、A4、B5、A5です。
- 自動原稿送り装置(ADF)は、強く跳ね上げないようにしてください。自動原稿送り装置(ADF)のカバーが開いたり破損することがあります。

4 機能の設定をします。

必要に応じて以下の設定をします。

- 濃度調整　　　：自動濃度、手動濃度調整、組み合わせ濃度調整
- 原稿種類選択　：文字、文字・写真、写真、淡い原稿、複写原稿
- 用紙選択　　　：自動用紙選択、用紙選択
- 拡大縮小　　　：あらかじめ設定されている倍率から選択

5 テンキーでコピーする枚数を入力します。

6 [スタート]キーを押します。

原稿ガラスに原稿をセットしたときは、すべての原稿の読み取り終了後に[#]キーを押します。

用紙にあわせて拡大 / 縮小する

原稿のサイズを自動的に検知し、指定した用紙サイズに合わせた倍率で拡大または縮小コピーします。

重要

- ［用紙指定変倍］を押した後に、右側に表示されている変倍率を選択した場合、用紙指定変倍機能は解除され、画像は回転されません。

原稿サイズによっては、用紙指定変倍できない場合があります。用紙指定変倍できる原稿のサイズと方向については、『コピー機能＆ドキュメントボックス機能編』「コピーする（基本編）」を参照してください。

補足

- B4 または A3 サイズの用紙へ拡大するときは、回転コピーできません。B4 または A3 サイズの用紙に拡大したいときは、原稿を方向にセットしてください。

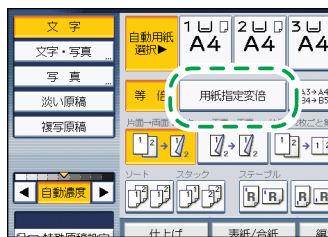
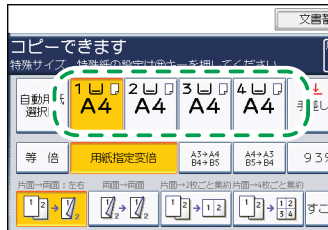
A4 サイズになるように拡大 / 縮小する

コピーの仕上がりが A4 サイズになるように拡大または縮小コピーします。

1 原稿をセットします。

参照

- 原稿のセット手順については、P.5「基本的なコピーのとりかた」の手順 3 を参照してください。

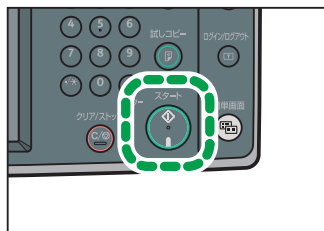
2 ［用紙指定変倍］を押します。

3 A4 または A4 の用紙がセットされたトレイを選択します。

補足

- ［用紙指定変倍］を押すと、トレイ 1 が自動的に選択されます。トレイ 1 にコピーしたいサイズの用紙がセットされているときは、トレイを選択する必要はありません。
- トレイを選択した後は、［用紙指定変倍］キーの右側にある［変倍］キーを押さないでください。
- A3 や B4 原稿を A4 に縮小するときは、画像が自動的に回転します。

4 ［スタート］キーを押します。

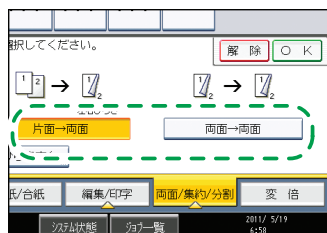
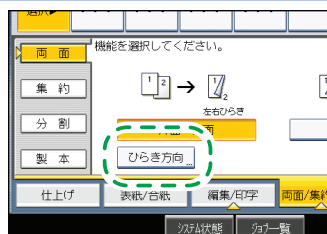
原稿ガラスに原稿をセットしたときは、すべての原稿の読み取り終了後に［#］キーを押します。

CHG010

2

両面コピーのしかた

1 ［両面 / 集約 / 分割］を押します。

2 「両面」が選択されていることを確認します。

3 両面の種類（［片面→両面］／［両面→両面］）を選択します。

4 ひらき方向を設定するときは、［ひらき方向］を押して、原稿またはコピーのひらき方向（［左右ひらき］／［上下ひらき］）を選択し、［OK］を押します。

5 ［OK］を押します。

6 原稿をセットし、［スタート］キーを押します。

奇数枚の原稿を原稿ガラスにセットするときは、最後の原稿を読み取った後、［#］キーを押します。

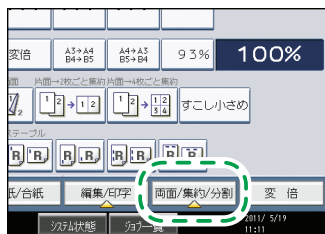
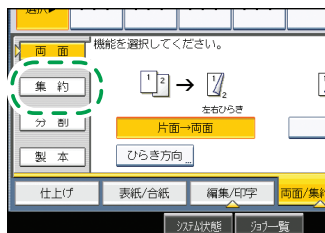
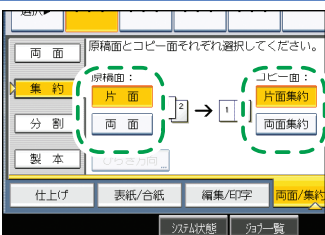
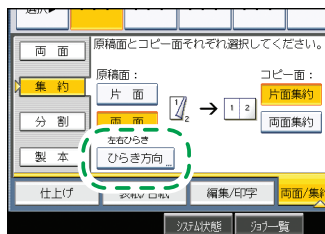
集約コピーのしかた

片面集約

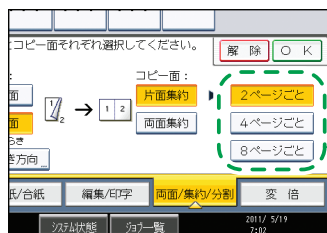
2 ページから最大 8 ページの原稿を片面 1 ページに集約します。

両面集約

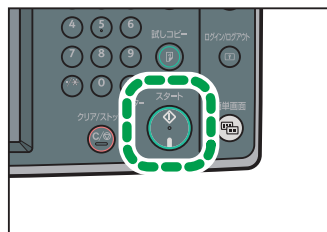
4 ページから最大 16 ページの原稿を両面 2 ページに集約します。

1 ［両面 / 集約 / 分割］を押します。

2 ［集約］を押します。

3 原稿面（［片面］／［両面］）を選択し、コピー面の［片面集約］または［両面集約］を押します。

4 原稿面が「両面」のとき、またはコピー面が「両面集約」のときは、［ひらき方向］を押してひらき方向（［左右ひらき］／［上下ひらき］）を設定します。

集約コピーのしかた（つづき）

5 原稿のまとめかたを選択します。

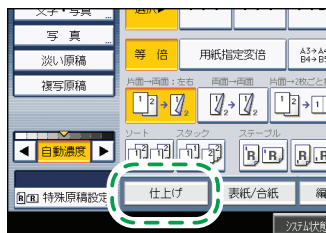
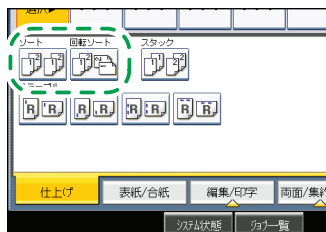
原稿面	コピー面	まとめかた
片面	片面集約	2 枚ごと /4 枚ごと /8 枚ごと
	両面集約	4 枚ごと /8 枚ごと /16 枚ごと
両面	片面集約	2 ページごと /4 ページごと / 8 ページごと
	両面集約	4 ページごと /8 ページごと / 16 ページごと

6 用紙を選択し、［OK］を押します。

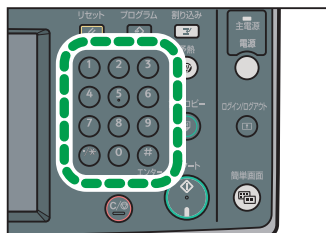
7 原稿をセットし、［スタート］キーを押します。

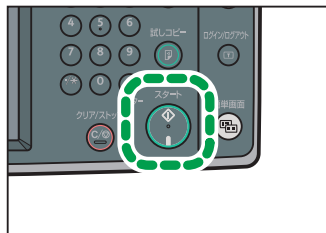
原稿ガラスにセットするときは、最後の原稿を読み取った後、[#] キーを押します。

CHG010

仕分けして出力する（ソート／回転ソート）

１セットずつページ順にそろえてコピーします。回転ソートを使うと、１セットずつの向きを変えてコピーします。

1 ［仕上げ］を押します。

2 ［ソート］または［回転ソート］を選択し、［OK］を押します。

3 テンキーでコピーする部数を入力します。

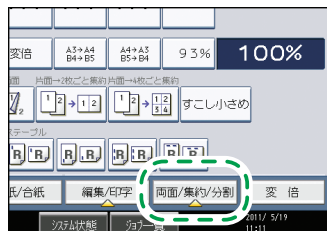
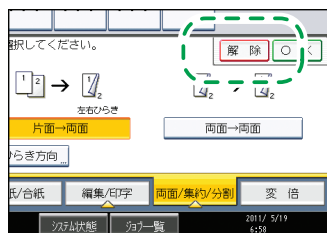
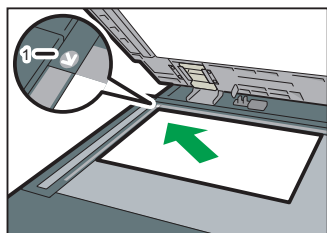
CHE046

4 原稿をセットし、［スタート］キーを押します。

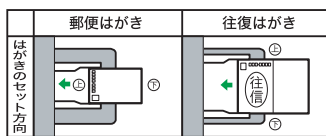
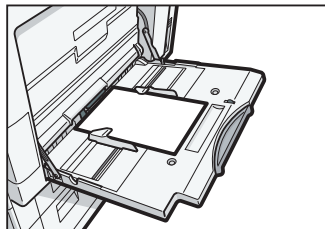
CHG010

はがきにコピーする

はがきにコピーするときは、用紙の種類とサイズを設定します。
はがきは、トレイ 1 と手差しトレイからコピーできます。ここでは手差しトレイを使う方法を説明します。

重要

- 郵便はがき、往復はがきには両面コピーできません。

1 ［両面 / 集約 / 分割］を押します。

2 ［解除］を押します。

3 原稿のコピーしたい面を下にし、左奥のセット基準にセットします。

1 セット基準

4 手差しトレイを開け、はがきのコピーしたい面を下にし、“ピッ”というブザー音が鳴るまではがきを軽く差し込み、用紙ガイド板をはがきのサイズに合わせます。

CHE058

CHE015

5 用紙選択の［手差し］を押し、［#］キーを押します。

6 ［用紙サイズ］を押します。

7 ［定形サイズ］を押します。

8 ［郵便ハガキ□］または［往復ハガキ□］を選択し、［OK］を押します。

9 ［用紙種類］を押します。

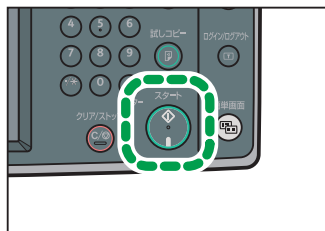
10 厚紙の種類（［厚紙］）を選択し、［OK］を 2 回押します。

補足

- 郵便はがきの厚紙の種類は「厚紙」をお勧めします。使用するはがきの用紙厚さに合わせて設定を変更してください。

11 ［スタート］キーを押します。

補足

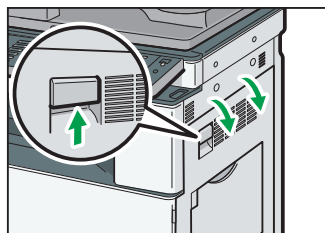
- はがきにコピーするときは、普通紙にコピーするときより印刷速度が遅くなります。

CHG010

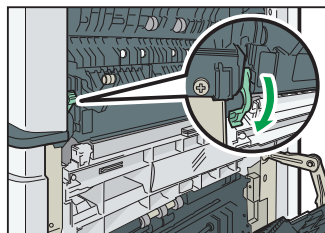
封筒にコピーする

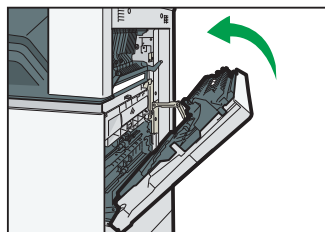
封筒にコピーするときは、用紙の種類とサイズを設定します。封筒は、トレイ１と手差しトレイからコピーできます。ここでは手差しトレイを使う方法を説明します。

重要

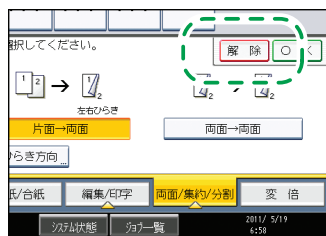
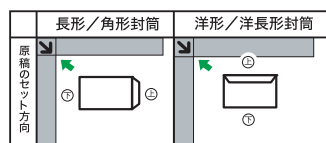
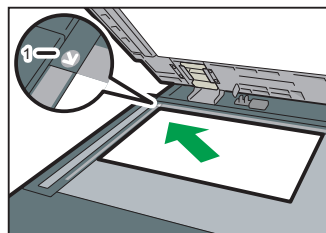
- あらかじめ、「用紙設定」の「用紙種類設定：手差しトレイ」で用紙種類と封筒の用紙厚さを設定する必要があります。用紙種類は［封筒］を選択してください。用紙厚さは、使用する封筒の紙厚に合わせて設定してください。
- 封筒には両面コピーできません。
- 環境によってはしわが発生したりするなど正しく印刷されないことがあります。

1 レバーを上げて右カバーを開きます。

CHF036

2 定着ユニットの左側にある封筒レバーを下げます。

CHF037

3 右カバーを閉じます。

CHF038

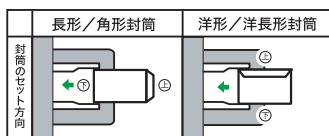
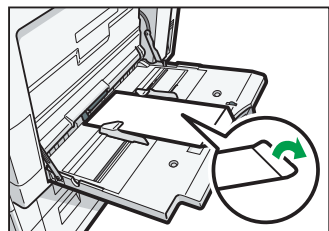
4 ［両面 / 集約 / 分割］を押します。

5 ［解除］を押します。

6 原稿のコピーしたい面を下にし、左奥のセット基準にセットします。

1 セット基準

2

封筒にコピーする（つづき）

7 手差しトレイを開け、封筒のコピーしたい面を下にし、“ピッ”というブザー音が鳴るまで封筒を軽く差し込み、用紙ガイド板を封筒のサイズに合わせます。

封筒を押さえて中の空気を抜き、四辺の折り目をしっかりと押さえてからセットしてください。また封筒が反っているときは、まっすぐに直してからセットしてください。

8 用紙選択の［手差し］を押し、［#］キーを押します。

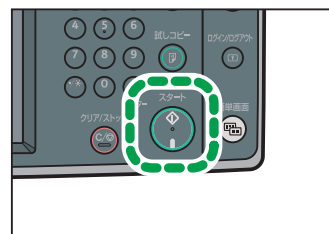
9 ［用紙サイズ］を押します。

10 ［定形サイズ］を押します。

11 封筒のサイズを選択し、［OK］を２回押します。

12 ［スタート］キーを押します。

補足

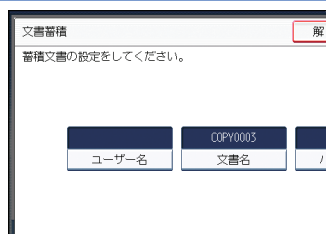
- 封筒にコピーするときは、普通紙にコピーするときより印刷速度が遅くなります。

13 コピー終了後は右カバーを開けて、封筒レバーを元の位置に戻します。

2

ドキュメントボックスに原稿を蓄積する

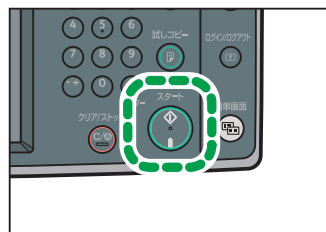
原稿をコピーしながらドキュメントボックスに蓄積する方法について説明します。
ドキュメントボックス機能で原稿を蓄積することもできます。

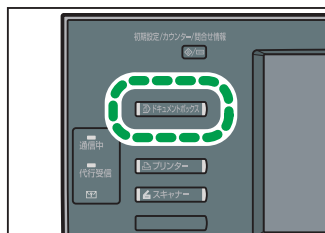
1 ［文書蓄積］を押します。

2 必要に応じてユーザー名、文書名、パスワードを設定し、［OK］を押します。

3 原稿をセットし、［スタート］キーを押します。

コピーが出力され、ハードディスクに文書が蓄積されます。

CHG010

3

ドキュメントボックスの文書を印刷する

1 ［ドキュメントボックス］キーを押します。

CHE005

2 印刷する文書を選択します。

パスワードが設定されているときは、パスワードを入力して［実行］を押します。

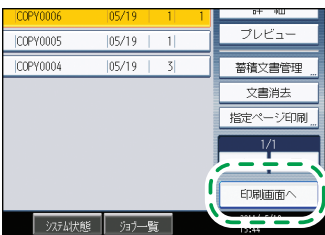
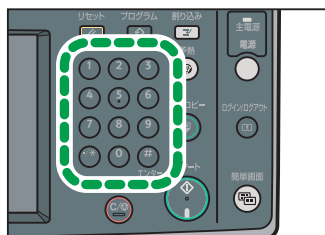
参照

- 文書の内容を確認する方法については、P.21「ドキュメントボックスの文書をサムネールで確認する」を参照してください。

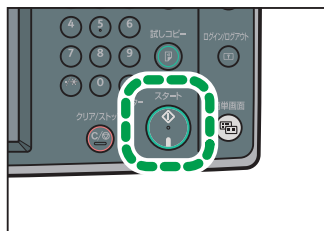
3 複数の文書をまとめて印刷するときは、印刷する順に手順 2 の操作を繰り返します。

3

4 印刷条件を設定するときは［印刷画面へ］を押します。

印刷条件の画面が表示されます。文書のユーザー名、文書名、およびこの文書の印刷順が表示されます。

5 印刷部数をテンキーで入力します。

CHE046

6

［スタート］キーを押します。

3

ドキュメントボックスの文書をサムネールで確認する

ドキュメントボックス画面の文書一覧をサムネール形式で表示させることができます。
サムネール表示に切り替えるには、画面左上の［サムネール］を押します。

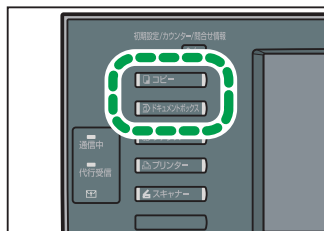
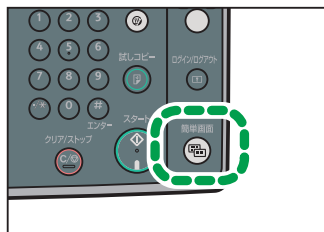
簡単画面に切り替える

簡単画面とは、主な機能のみを表示した画面です。
文字サイズとキーサイズが拡大され、より簡単に操作することができます。使用する機能によって、簡単画面に表示される項目は異なります。

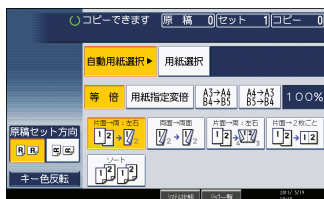
1 使用したい機能のキーを押します。

CHE051

補足

- 工場出荷時の設定では、コピー機能が選択されています。

2 ［簡単画面］キーを押します。

CHA003

簡単画面が表示されます。

補足

- 初期画面に切り替えたいときは、再度［簡単画面］キーを押します。

よく使う設定を初期画面に表示する

よく使う設定を初期画面に登録しておくと便利です。電源を入れた直後、オートクリアしたとき、またはリセットしたときの状態を初期画面に設定することができます。この機能は、コピー機能とドキュメントボックス機能の初期画面で利用できます。初期値は、それぞれの機能で別々に設定できます。

初期値を変更できる設定項目

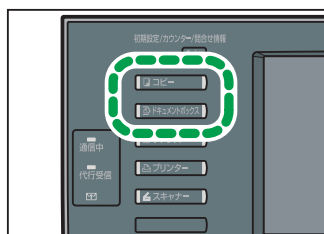
初期値を変更できる項目は、以下のとおりです。

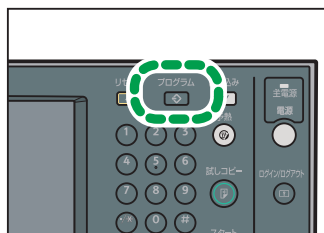
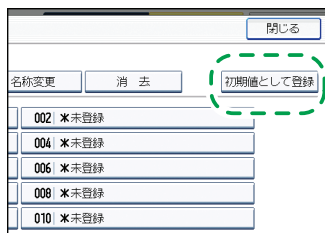
コピー機能	コピー部数、給紙トレイ、原稿種類、コピー濃度、特殊原稿設定、原稿セット方向、表紙 / 合紙、編集 / 印字、両面 / 集約 / 分割、変倍、仕上げ、文書蓄積
ドキュメントボックス機能	• 文書印刷初期画面 印刷部数、仕上げ、表紙 / 合紙、編集 / 印字、両面印刷、ミニ本、週刊誌 • 原稿読み取り初期画面 給紙トレイ、原稿種類、コピー濃度、特殊原稿設定、原稿セット方向、編集、両面 / 集約、変倍

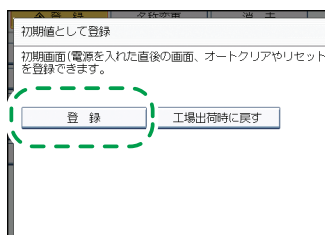
初期値を変更する

1 使用したい機能のキーを押します。

補足

- 工場出荷時の設定では、コピー機能が選択されています。

2 初期画面で、登録したい機能や操作を設定します。

3 ［プログラム］キーを押します。

4 ［初期値として登録］を押します。

5 ［登録］を押します。

確認画面が表示されます。

6 ［登録する］を押します。

現在の設定が初期値として登録され、初期画面に戻ります。

補足

- ［工場出荷時に戻す］を押すと、初期画面の初期値を工場出荷時の状態に戻すことができます。
- 初期画面の初期値は、通常画面と簡単画面で別々に登録できます。

よく使う設定や操作条件を登録する

よく使う設定や操作条件を、プログラムとして登録します。登録した内容はキーを押すだけで簡単に呼び出すことができます。
この機能は、コピー機能とドキュメントボックス機能で利用できます。
プログラムは、それぞれの機能で別々に登録できます。

プログラムに登録できる設定項目

プログラムに登録できる項目は、以下のとおりです。

コピー機能	コピー部数、給紙トレイ、原稿種類、コピー濃度、特殊原稿設定、原稿セット方向、表紙 / 合紙、編集 / 印字、両面 / 集約 / 分割、変倍、仕上げ、文書蓄積
ドキュメントボックス機能	文書印刷初期画面 印刷部数、仕上げ、表紙 / 合紙、編集 / 印字、両面印刷、ミニ本、週刊誌

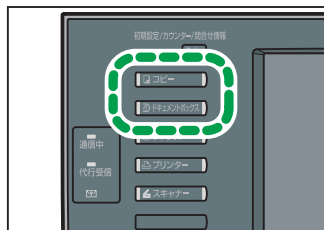
補足

- プログラムに登録した内容は、消去またはあらたに登録しない限り、電源を切ったり、[リセット] キーを押しても取り消されません。

プログラムを登録 / 変更する

1 使用したい機能のキーを押します。

補足

- 工場出荷時の設定では、コピー機能が選択されています。

2 プログラムに登録したい機能や操作を設定します。

4

3 ［プログラム］キーを押します。

4 ［登録］を押します。

5 登録するプログラム No. を押します。

補足

- プログラムを新規に登録するときは、「未登録」と表示されているプログラム No. を押します。プログラムを変更するときは、変更したいプログラム No. を押します。

6 プログラム名を入力します。

7 ［OK］を押します。

プログラム画面に戻り、登録したプログラム No. の後ろにプログラム名が表示されます。しばらくすると初期画面に戻ります。

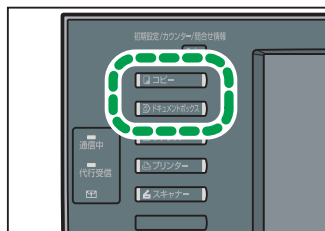
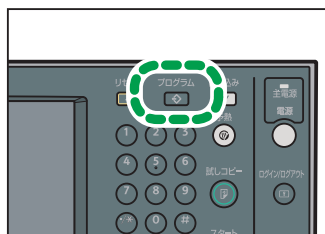
よく使う設定や操作条件を登録する（つづき）

プログラムを呼び出す

1 使用したい機能のキーを押します。

CHE051

補足

- 工場出荷時の設定では、コピー機能が選択されています。

2 ［プログラム］キーを押します。

CHE004

3 呼び出すプログラム No. を押します。

登録されているプログラムが呼び出され、内容が画面に表示されます。

補足

- ◇が表示されていない No. にはプログラムは登録されていません。

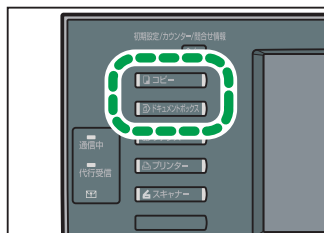
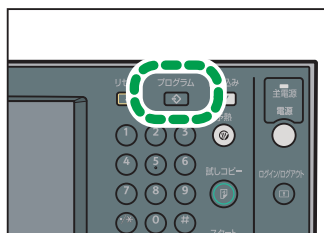
4

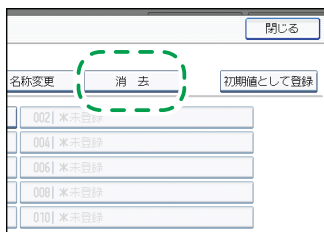
登録したプログラムを消去する

1 使用したい機能のキーを押します。

CHE051

補足

- 工場出荷時の設定では、コピー機能が選択されています。

2 ［プログラム］キーを押します。

CHE004

3 ［消去］を押します。

4 消去するプログラム No. を押します。

5 ［消去する］を押します。

プログラムが消去されて、初期画面に戻ります。

4

お問い合わせ先

■消耗品に関するお問い合わせ

弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売店にご注文ください。
http://www.ricoh.co.jp/office/supply/index.html

■故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、サービス実施店または販売店にお問い合わせください。
修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。
転居の際は、サービス実施店または販売店にご連絡ください。転居先の最寄りのサービス実施店、販売店をご紹介いたします。
http://www.ricoh.co.jp/support/repair/index.html

■操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「お客様相談センター」にお問い合わせください。

FreeDial

0120-000-475
FAX 0120-479-417

●受付時間：平日（月～金）9 時～ 18 時
　土曜日 9 時～ 12 時、13 時～ 17 時（祝祭日、弊社休業日を除く）
●通話料は無料です。
●音声ガイダンスに従い製品別の番号をプッシュトーンでお知らせください。トーン信号が出せない電話機の場合は、そのまましばらくお待ちいただきますとオペレーターに接続します。
※お問い合わせの内容は対応状況の確認と対応品質の向上のため、通話を録音・記録させていただいております。
http://www.ricoh.co.jp/SOUDAN/index.html

■最新ドライバーおよびユーティリティー情報

最新版のドライバーおよびユーティリティーをインターネットのリコーホームページから入手できます。
http://www.ricoh.co.jp/download/index.html

リコーは環境保全を経営の優先課題のひとつと考え、リサイクル推進にも注力しております。
本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。
画面の表示内容やイラストは機種、オプションによって異なります。
本書は、原則的にオプションを装着した状態の画面と外観イラストを使って説明しています。

imagio MP 3352/2552 シリーズ

クイックガイド

<コピー＆ドキュメントボックス編>

株式会社リコー

東京都中央区銀座 8-13-1 リコービル 〒 104-8222

http://www.ricoh.co.jp/

JA JP 2011 年 5 月 D120-7515